

## 1 本校の概要

本校は、創立39年目を迎える、船橋市北部に位置する普通科18クラスの高等学校である。平成27年度に千葉県から「地域連携アクティブスクール」の指定を受け、四年目を迎えた。多くの生徒が、中学校時代に「勉強が苦手」「学校に通えなかった」「人付き合いが苦手」といった悩みを持って入学している。そのため、学び直し授業による基礎学力の定着、不登校の克服、人間関係のトラブル解消、外国人生徒への対応等、教員は複雑かつ多様な課題に対応することが求められている。教員の現状は、20代～30代41%、40代2%、50代34%、60代23%と経験の浅い教員の割合が高くなっている。生徒と向き合う時間を確保しながら、実践的指導力や学び続ける意識を持った人材育成が大きな課題であり、組織的・計画的に取り組むことが急務である。

## 2 人材育成のための指導体制の構築

## (1) 地域連携アクティブスクールの特色を生かした人材育成

ア 学び直し：若手教員研修チームを中心とした教員相互の授業参観等を計画的に実施、「学び直し」授業を充実させることで授業力向上を図る。なお、授業では教員志望の大学生学習サポートボランティア（H30は43名）の応援をいただいているが、学生に助言することで教員自らの資質向上につながっている。また、教員志望の学生にとっても教職へのモチベーションを高める恰好の機会となっている。



授業風景

イ 実践的なキャリア教育：様々なソーシャルスキルトレーニングを企画・運営することで、人間関係構築の手段を計画的に学ぶ。また、就業体験や地域と連携した行事を指導することで、実践的なキャリア教育を学ぶ。



ソーシャルスキルトレーニング



子育てサロン

## (2) チームの中で育てる

ア 各校務分掌は、ベテラン教員と若手教員がコミュニケーションを図れるようなチーム構成としている。なお、1学年主任31歳、3学年主任33歳、教務主任31歳、生徒指導主事33歳と若手教員を主任に配置している。OJTの中で、先輩教員からの助言を受けながら学び続ける、周りを見ようとする、そして学校を見ようとする意識を高めさせている。

イ 初任者は全員「学校紹介」に関する業務に参画させている。学校要覧・リーフレットの作成や中学校訪問、学校説明会等における先輩教員の取組より学ばせスキル向上を図る。また、生徒理解に努めさせたり、生徒のために本校がどのように取組んでいるかを理解させたりすることで教職への情熱を高めさせている。右の写真は、初任者たちが作成した本校の教育方針が組込まれた掲示物である。



掲示板

## 3 まとめ

地域連携アクティブスクール一期生の進路決定率が98%、学校全体の出席率96%、転退率は3年前の1/5に不登校率は1/4へと一定の成果を見せている。教育活動の充実が教員に達成感を感じさせ、さらなる意欲をかきたて、学校は活気にあふれている。学校の特色やベテラン教員のスキルを活用し若手教員を育てることが、学校全体を育てることにつながっていると考える。